

菜の花だより

東海みなみ日本共産党後援会ニュース
20 発行：2004年4月3日
【連絡先】東海村村松2401-2 電話029-284-0761



祝勝会も兼ね高萩「山の湯」へ



3月6日いつもの日帰り温泉、今回は村議選後でもあったため車中、会場などで選挙中のエピソード、次の選挙のためのアドバイス迄も頂きました。

「菜の花会」39名の参加者は、次号菜の花だよりの楽しい記事を期待しながら、またの機会を約束しました。



2004年 3月議会情報

新年度一般会計は否決に！

日本共産党会派は、新年度予算案に対し十分な質疑を行い検討した結果、一般会計、公共下水道会計、水道事業会計は反対、その他の会計は賛成しました。

一般会計予算案について、一部保守会派も反対であったため、予算案は否決になりました。

我が党の反対の理由（詳しくは、「明るい東海」でお知らせします）

一般会計

1, 容認できない事項

政府の三位一体の改革による本村財政の負担増。

地方消費税交付金が増加されたがその背景は売上額1000万円以上の客体が課税対象とされたことによるため。

ごみ有料化予算は認められない。

教材費補助事業と商店街活性化事業の打ち切りに反対。

港湾負担金の支出は認められない。

2, 問題解決を先行すべき事業

白方小建設事業の敷地問題について、決定に至る行政手続の誤りの部分をやり直すこと。

環境自治体会議は、よく検討し手作りで執行し会議後事業が発展するよう

3, 慎重な検討を要する事業

施政方針で述べられた「先進的独創的な教育政策の推進」については、村長の個人的見解のみで実施するのは危険。

建設関係予算にも配慮し、道路の改良が村民の安全確保にもつながり福祉につながる視点を持つことが重要。

自主財源の確保に取り組むべき。

4, 評価すべき事業

病院建設予算の確保

国保会計に対し、多額の一般会計繰り出しを行い税率改正を行わなかったこと。

検診事業で腹部超音波検査事業の実施は重要。

学校図書館指導員の配置を全小中学校に拡大した予算。

公共下水道、水道事業会計

下水道使用料と水道料金にそれぞれ消費税額が見込まれた予算のため反対。公共料金には課税すべきでない。

読者投稿】

「精神保健福祉」シリーズ

今回は、統合失調症(旧名「精神分裂病」)の発症と回復過程の中の「急性期」に、本人が体験する症状の中で「妄想」についてです。

今回は、「急性期」の「幻覚」と「思考障害」についてです。

《幻覚とは?》

実際には存在しないものが知覚されることを言います。

幻覚の内容は妄想の内容と一致して、皮肉、避難、叱責するものも多く見られます。中でも幻聴といって声が聞こえることが多く、自分に対する悪口やうわさ、テレパシー、命令が聞こえると訴えます。

その他、目に見えないものが見える(幻視)や幻味、幻臭などがあります。

《思考障害とは》

統合失調症の患者さんは、かなり重度の人でも記憶は正しく、知識は豊富で日常の短い会話は普通にできます。しかし、長い話をするとつじつまが合わず、何を言いたいのか分からないことがあります。

その他、外から考えが吹き込まれる、考えたことが周りに筒抜けになると訴えることがあります。

また、周りの人の会話や雑談について行けなかったり、小説を読んでもよく意味がつかめないということもあります。

今回は、「周りの人が気づく症状」についてです。

くらしを応援する政治どうしたら出来るか?

4月24日(土)日本共産党演説会に行きましょう

場所:水戸県民文化センター

時間:午後2時~

東海村からバスで参加することを考えています。

お話を聞きにいきませんか!